

# 懸賞SA 解答 2023年 2月号

- 問1 正解②** 表現の自由における「表現」には、憲法21条1項で例示されている言論や出版のほか、インターネット上の掲示板への投稿、街頭での演説やピラ配布等、あらゆる手段・媒体が含まれる。
- 問2 正解①** 警察法65条によれば、警察官は、いかなる地域においても、現行犯人の逮捕に関して、その職権を行使することができるものとされている。
- 問3 正解⑤** 公務執行妨害罪の成立に当たっては、本罪が抽象的危険犯であることに鑑み、暴行・脅迫により公務員の職務執行が現実には妨害されたことを必要としない。したがって、暴行・脅迫が加えられれば、そのことをもって直ちに公務執行妨害罪の既遂犯が成立することとなる。
- 問4 正解④** 告訴における犯罪事実は、他の犯罪と区別することができる程度に特定されていれば十分であり、必ずしも日時・場所・態様等の詳細まで明確にされている必要はない（大判昭6.10.19）。
- 問5 正解③** 枝文は、「基本訓練」の説明である。「補助訓練」とは、警察官に必要な反射力、体力等を向上させるための訓練である。また、「応用訓練」とは、1対1で相互に自由に攻撃及び防御を行い、間合い、目付け、体さばきや、各種術技を修得するための実戦的な訓練である。
- 問6 正解④** 人身取引事犯の外国人被害者は、出身国の警察に対する不信感から、日本の警察に対しても同様の不信感を抱いていることが多いという特殊性がある。また、人身取引事犯の外国人被害者は、仲介事業者、雇用主からの威迫等により、精神的に不安定になっていることも多い。
- 問7 正解③** 私服姿で職務質問をする場合は、警察官であることを必ず告げるとともに、警察手帳を示すなどして身分を明らかにし、正当な職務行為であることを相手方に理解させる。
- 問8 正解⑤** 枝文は、「密行」の説明である。「尾行」とは、捜査資料等の収集又は被疑者の逮捕等を目的として、被疑者や犯罪を行うおそれのある者、あるいは関係者等に気づかれないように、それらの者を追隨して監視する捜査方法をいう。
- 問9 正解①** 道交法17条1項本文は、歩道又は路側帯と車道の区別がある道路においては、車道を通行しなければならないことを規定しているが、同項ただし書にあっては、その特例として、歩道等を通行できる場合を規定している。
- 問10 正解②** 菅原道真は戦前の日本銀行券に登場しており、二宮尊徳、夏目漱石、樋口一葉も戦後の日本銀行券に登場しているが、徳川家康は日本銀行券の肖像として採用されたことがない。なお、日本銀行券の表面に女性の肖像が採用されたのは、樋口一葉が初めてである。